

## = 研修・講習会 =

### 指定自動車整備事業者等講習会を開催します

指定自動車整備事業の適切かつ円滑な運営を図るため、標記講習会を山梨運輸支局のご協力を頂き、下記により開催致します。

つきましては、受講対象者の方は必ず受講されますようお願いいたします。

1. 講習対象者 ① 指定整備事業者  
② 事業場管理責任者（保安基準適合証交付者）  
③ 主任技術者  
④ その他指定整備事業に携わる中間管理者

※①～④の対象者の中から、本年度は受講人数を制限しているため指定整備事業場ごとに事業場管理責任者を含め2名以内の受講をお願いします。

2. 講習指定日 （事業場の指定番号等を確認の上、指定日に受講してください）

日	時	講習時間	講習対象者
令和6年2月9日(金)	午 前		指定番号8-1番～8-286番の 主任技術者、中間管理者
	午 後		指定番号8-1番～8-286番の 指定整備事業者、事業場管理責任者(保適交付者)
令和6年2月16日(金)	午 前		指定番号8-287番～8-489番の 主任技術者、中間管理者
	午 後		指定番号8-287番～8-489番の 指定整備事業者、事業場管理責任者(保適交付者)

※新型コロナウイルス等感染拡大防止の観点から受講人数を制限しておりますので必ず指定日に受講をお願いします。（指定日以外でお越しいただいた場合、受講できない場合もありますのでご承知願います。）

※都合の悪い場合は、振興会指導教育部まで連絡をお願いします。

3. 講習時間 【午前の部】 受付 9:00～ 9:30 研修 9:30～12:00  
【午後の部】 受付 13:00～13:30 研修 13:30～16:00
4. 開催場所 (一社) 山梨県自動車整備振興会 大講堂
5. 受講料 1名 3,200円 (テキスト代を含む)
6. その他 受講修了証明を致しますので、自動車整備技能者手帳をご持参下さい。

#### 【新型コロナウイルス等感染防止対策のお願い】

- ①受講時はマスクの着用を推奨します。
- ②会場に入る時は、設置してある消毒液による消毒をお願いします。  
新型コロナウイルス等感染拡大防止の為、ご理解ご協力をお願いします。

## 第143期技術講習所受講生募集のご案内について

### 1. 募集種目

二級ガソリン・三級ガソリン

### 2. 募集人員

種目	募集人員数
二級ガソリン	40
三級ガソリン	40

(受講希望人員10人未満の場合は、開講しない場合があります。)

### 3. 受講申込み

① 申込期間                      2月5日(月)～3月8日(金)

② 受講申込み方法    受講希望者は受講申請書(教育課窓口にあります)に必要事項を記入のうえ受講料を添えてお申し込み下さい。

受講者の都合により未受講となった場合、受講料の返却はいたしません。

### 4. 受講料

種目		受講料	備記
二級ガソリン	会 員	62,300	受講料には、テキスト代・資料代を含みます。(二級ガソリンについて材料代も含みます。)
	会員外	88,500	
三級ガソリン	会 員	59,800	
	会員外	86,000	

### 5. 講習日程予定

講習日程表は概ね下記の曜日を計画していますが、決定した講習日程表は受講者へ開講式の日にお渡しします。

① 二級ガソリン                      原則 火、木曜日の20日間を予定(土曜日1日含む)

② 三級ガソリン                      原則 火、木曜日の20日間を予定

③ 講習時間                          9:10～15:50(1日6時限)

④ 開講式・全課程                      **4月11日(木)**

受付8:30～8:45、開講式9:00

開講式終了後、講習を実施

修了式(予定) 令和6年9月上旬

### 6. 受講資格(実務経験は講習修了日までとする)

二級ガソリン	三級の技能検定に合格した者で技能検定合格の日から自動車の整備作業に関して <b>3年以上の実務経験</b> を有する者 (大学機械・電気・電子科卒1.5年、高校機械・電気・電子科卒2.0年)
三級ガソリン	自動車の整備作業に関して、 <b>1年以上の実務経験</b> を有する者 (大学、高校機械・電気・電子科卒0.5年)

## 7. 受講修了特典として各科目の検定実技試験が免除されます！

検定実技試験免除は、各科講習修了日より2年間を超えると無効になりますので、期間内で登録学科試験を受験し、合格した後に全部免除申請として国に申請し整備士資格を受けて頂くこととなります。

詳細は、振興会教育課までお問い合わせ下さい。

## 8. その他

①本講習は検定試験の実技試験免除の講習です。

②受講者は、白色作業服（工場等のロゴが無いもの）実習時は安全靴を着用して下さい。

③デジタルサーキットテストを用意して下さい。

（10A程度の電流が測定できるもので、アナログタイプ、及びポケット型は不可とします）

※自動車整備商工組合購販課で下記の物を取り扱っています（価格変動あり）

		金 額
☆白色作業服	S～L、XL	4,800円
	4L	4,900円
☆デジタルサーキットテスト ( Kaise KU-2600 )		7,330円

## 自動車整備主任者(技術)研修のご案内について

標記研修を次のとおり実施します。

該当事業場には事前に通知しますので、必ず受講されますようお願いいたします。

研修対象者は、**各事業場で選任されている整備主任者(1事業場1名以上)**

- ◇ 研修会場 (一社) 山梨県自動車整備振興会 研修センター及び実習場
- ◇ 担当講師 各ディーラー技術担当者
- ◇ 研修内容 学科：新機構・新装置  
実習：ステアリング系統の構造・機能及び診断技術
- ◇ 受講料 7,000円(テキスト代含む)  
【使用テキスト】
  - ・令和5年度版 自動車整備新技術(学科研修用)
  - ・令和5年度版 自動車整備新技術(実習研修用)
- ◇ 研修時間 受付 9:00～9:30  
研修 9:30～17:00

令和5年度整備主任者(技術)研修日程表

回数	月 日	曜日	該当支部	受講 予定者数	学科(小型)	実習(小型)	学科(大型)
1	10月5日	木	岳麓①	47	トヨタ	トヨタ	UDトラックス
2	10月12日	木	岳麓② 大月	47	三菱	三菱	三菱ふそう
3	10月19日	木	峡北 南アルプス北	44	ホンダ	ホンダ	いすゞ
4	11月9日	木	都留 上野原	40	トヨタ	トヨタ	日野
5	11月16日	木	南アルプス南 南巨摩南	38	ホンダ	ホンダ	UDトラックス
6	12月7日	木	塩山 南巨摩北	40	日産	日産	いすゞ
7	12月14日	木	甲府東 市川	66	トヨタ	トヨタ	三菱ふそう
8	12月21日	木	甲府南	47	マツダ	マツダ	日野
9	1月11日	木	二 輪	16	二輪	二輪	
10	1月18日	木	甲府西	47	日産	日産	UDトラックス
11	1月25日	木	東八① 日下部	50	スバル	スバル	いすゞ
12	2月8日	木	東八②	51	トヨタ	トヨタ	三菱ふそう
13	2月15日	木	甲府北 韮崎	56	スズキ	スズキ	日野
14	2月22日	木	その他	8	ダイハツ	ダイハツ	UDトラックス

## 電子制御装置整備の整備主任者等資格取得講習について

令和2年4月から施行された特定整備制度において、従来の分解整備の認証（特定整備分解）に加え、電子制御装置整備の認証（特定整備電子）を取得する際、選任しようとする全ての整備主任者が「1級自動車整備士（1級二輪は除く）」または「1級二輪、2級自動車整備士であって支局が行う講習を修了した者」であることが必要となります。

ついては、電子制御装置整備の整備主任者等資格取得講習を下記の予定で開催しますのでご案内します。

なお、今年度より約3か月に一度の開催となりますので、各事業場において下記予定表をご確認の上、受講されますようお願いいたします。

また、講習日に変更が生じた際には、会報誌等を通じて、お知らせします。

### ◇ 講習日及び申込期間

講習日	申込期間
令和6年3月18日（月）	2月13日（火）～ 2月22日（木）

※申込期間中、申請書類を窓口に提出して申込をして下さい(FAX等で申込はできません)。

### ◇ 時間割

	受付時間	講習時間
実 習	9：00～9：30	9：30～12：30
学 科	13：30～14：00	14：00～15：00
試 問	14：45～15：00	15：10～15：40
合格発表	16：00～	

◇ 会 場 （一社）山梨県自動車整備振興会 研修センター

◇ 担当講師 山梨運輸支局陸運技術専門官  
ディーラー担当講師

◇ 定 員 実習 25名 学科及び試問 50名（先着順、定員になり次第締め切りとします。）

### ◇ 受講料

	受講料	資料代
学科	無料	500円
実習	2,500円	

※資料は国土交通省ホームページからもダウンロードできます。

資料持参の場合は受講料のみとなります。

◇ 講習内容

実習 【3.0時間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進安全技術の概要</li> <li>・先進安全技術の用いられるセンサー類等</li> <li>・電子制御装置整備に必要な重要事項</li> <li>・センサー類のエーミング作業 等</li> </ul>
学科 【1.0時間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車特定整備事業について</li> <li>・新たに特定整備の対象となる装置の保安基準設定状況</li> <li>・電子制御装置整備の適用を受ける自動車の確認方法</li> <li>・自動車特定整備記録簿の取扱いについて 等</li> </ul>
【0.5時間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試問</li> </ul>

- ◇ 申請書類
- (1) 受講申請書 1枚
  - (2) 受講票 1枚
- 【申請書、受講票は振興会・指導教育部窓口に用意します。振興会ホームページ (<http://www.ams.or.jp>) の会員ページからもダウンロードできます。】
- (3) 写真2枚(縦4cm、横3cm)
  - (4) 自動車整備士合格証書の写しまたは自動車整備士手帳
  - (5) 実習受講済みの方は、実習受講証
  - (6) 実習を受講する方は、実習申込書
  - (7) 学科受講済みの方は、自動車整備士手帳(学科(検査員研修等)を受講済みであることを証明するため)

- ◇ 持ち物
- (1) 筆記用具(鉛筆又はシャープペンシル)
  - (2) 消しゴム
  - (3) マーカーペン
  - (4) 資料をお持ちの方は『令和2年度又は令和3年度自動車検査員研修資料』又は『令和2年度版最近改正された法令・通達集(整備事業編)』又は『電子制御装置整備の整備主任者等資格取得講習テキスト(国土交通省自動車局整備課作成)』

## 外国人自動車整備技能実習評価試験の報告について

(一社)山梨県自動車整備振興会にて外国人自動車整備技能実習評価試験が行われ、その結果は下記のとおりです。

実施日	初級学科試験			初級実技試験		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
1月27日(土)	2	2	100	2	2	100



## OBD検査に関する研修会が開催されました

令和6年10月からのOBD検査本格運用に向けて、検査用スキャンツールの使用方法・利用者管理システムへの登録方法・特定DTCアプリ利用者登録・操作方法等について、山梨県自動車整備商工組合による研修会が、下記により開催されました。

いよいよ始まる本格運用に向けて、適切な準備を進めていただくために、今後とも各種研修会・勉強会にご参加ください。

◇日 時 1月26日(金)19:00～20:30

◇場 所 (一社)山梨県自動車整備振興会 実習場

◇参加者 AMS山梨青年部 運営委員 他 16名

◇研修内容 「認定されたOBD検査用スキャンツールの使用方法とOBD検査の概要、特定DTCアプリの操作方法等について」(座学+実習)

◇講 師 ホンダ自動車販売株式会社 自動車販売部 サービス統括マネージャー 村松 文仁 氏



研修会の模様



研修会の模様

\* 関東運輸局ではOBD検査のプレ運用開始に伴い、自動車整備業の皆様に広く意見を徴集すべく、パブリック・コメント(意見・要望の公募)を実施しております。

つきましては、各支部より寄せられたご意見(12月分)と関東運輸局のご回答を、下記のとおりご報告いたします。

OBD検査におけるご意見・ご要望等がありましたら、山梨県自動車整備振興会ホームページより、回答フォーマットをダウンロードしていただき下記によりご提出ください。

提出先 振興会メール (sidou@ams-net.jp) または FAX (055-263-4420)

回答フォーマット リンク先よりダウンロードしてください。

リンク先 [amsdl.ams.or.jp/shinnkoukai/OBDiken/OBD.htm](https://amsdl.ams.or.jp/shinnkoukai/OBDiken/OBD.htm)

事業者からの意見等		(12月分)
	意見など	回答(関東運輸局)
1	<p>OBＤ検査の適否は特定DTC照会アプリ又はOBＤ検査結果参照システムにて判定するものと考えているが、特定DTC以外のDTCが残っても保安基準適合証の交付に問題はないですか。</p>	<p>はい。いわゆる車検時のOBＤ検査において、特定DTC照会アプリを用いて「検査合格」との判定があれば、特定DTC以外のDTCがあっても検査合格として問題ありません。</p> <p>なお、OBＤ検査では特定DTCの有無に限らず、以下の項目適合条件で合格となります。</p> <p>【排ガス系システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ OBＤが機能するために必要な電圧が確保されていること。</li> <li>・ MIL(排ガスに係る警告灯)信号がONでないこと。</li> <li>・ レディネスコード(故障診断の前提条件が成立していること)</li> <li>・ 特定故障コード(DTC)が検出されないこと。</li> <li>・ 通信成立性が確保されていること。</li> </ul> <p>【安全系システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定故障コード(DTC)が検出されないこと。</li> </ul>
2	<p>特定DTC解除のための整備は保安基準適合性に必要な整備となるが、特定DTC以外のDTC解除については、継続検査での過剰整備とならないのか。</p>	<p>OBＤ検査に関する特定DTC解除のための整備は検査料金に含まれ請求できるもの理解しておりますが、これ以外のDTCの解除や整備を行う場合には、点検・整備内容等について、ユーザー等の依頼者に丁寧に説明し、理解を得ることが重要です。</p>
3	<p>特定DTC以外のDTC解除についてユーザーに整備の必要性を説明したところ、後日整備を選択されることは問題ないですか。</p>	<p>保安基準適合性に関わらないDTCの整備については後日整備を選択されても問題ありません。特定DTC以外のDTCの解除や整備を行う場合には、点検・整備内容等について、ユーザー等の依頼者に丁寧に説明し、理解を得ることが重要です。</p>
4	<p>今後、特定DTC解除後に試運転なり車両をある程度走行後でないと検査が出来ないようなことはありませんか。</p>	<p>OBＤ検査は停車状態で実施しますので、この状態で特定DTCが検出されなければ問題ありません。</p> <p>今後、整備後に試運転なり車両をある程度走行しないと特定DTCが解除できない自動車が出てくる可能性の有無について質問があったことは、国土交通本省にも報告させていただきます。</p>
5	<p>指定工場において、受け入れ時は整備用スキャンツールにてDTC解除の対応を行い、完成検査のみ検査用スキャンツールにてOBＤ検査を行っても問題ないですか。</p>	<p>完成検査は必ず検査用スキャンツールを使用し、「OBＤ検査モード」で実施頂ければ問題ありません。</p>
6	<p>車両受け入れ時にOBＤ検査を行い、その後の作業で検査項目に影響を及ぼさない場合は受け入れ時の結果を検査として良いものと思いますが、OBＤ検査において検査後に保安基準適合性に影響がある作業を明確化いただきたい。</p>	<p>受入点検時に行ったOBＤ検査は、その後に行われる点検整備の影響を受ける可能性があり、影響を受ける範囲等が明らかになっていない状況です。このため、OBＤ検査について、いわゆる「検査の合理化」が適用できるかどうかは、その範囲も含めて現在検討しています。</p>
7	<p>現在スキャンツールを活用する場合診断料を受領していますが、OBＤ検査がスタートした後も診断料を受領して宜しいですね。(当然検査料にはOBＤ検査料が上乘せされます。)</p>	<p>OBＤ検査は、制動力の検査等と同様に検査項目の一部であるため請求できるものと理解していますが、いわゆる「検査一式」の料金に含めるか否か等については、各事業者の判断になります。いずれにせよ、料金内容等について、ユーザー等の依頼者に丁寧に説明し、理解を得ることが重要です。</p>
8	<p>リセット(消去)し忘れたDTCはOBＤ検査の際に判定に影響はありますか。</p>	<p>OBＤ検査時は特定DTC等が検出されるかどうかを特定DTC照会アプリによって確認しますので、特定DTCを削除し忘れて残っている場合には不合格判定となります。</p>
9	<p>指定工場が受入れ点検時にOBＤ点検を実施する際に使用するスキャンツールは整備用のスキャンツールでも良いものと思いますが、この場合当然ながら、完成検査時には自動車検査員が検査用スキャンツールを用いてOBＤ検査を実施します。</p>	<p>指定工場が受入れ点検時にOBＤ点検を実施する際に使用するスキャンツールは整備用スキャンツールでも構いません</p>
10	<p>災害等、何らかの理由のより通信障害が発生した場合のOBＤ検査は如何に実施するのか。</p>	<p>OBＤ検査用サーバの不具合や大規模停電等、通信障害が発生した場合には、機構のホームページ等で障害が発生していることを公表するとともに、OBＤ検査は緊急的な対応のため警告灯で確認を行う方向で検討しています。なお、事業場内のWi-Fiなどの通信不良はこの緊急的の対応にはならない予定です。また、休日や夜間に通信障害が発生した場合の対応を危惧されることは認識しています。詳細は現在も検討していますが、事業者の負担とならないように緊急時の対応の伝達方法やOBＤ検査の方法を検討しているところです。</p>
11	<p>ディーラー等において、例えば、事業者本部(本社)で各事業場の登録状況を確認する方法はあるか。</p>	<p>OBＤ検査システムの利用者管理システムにおいて、本社に統括管理責任者権限を付与すれば、管理下にある各事業場の状況を把握することが可能です。</p> <p>詳しくは、自動車技術総合機構のOBＤ検査ポータルサイト(<a href="https://www.obd.naltec.go.jp/">https://www.obd.naltec.go.jp/</a>)または、OBＤ検査コールセンター(0570-022-574:月曜日～金曜日(祝日および12月29日から1月3日を除く)9時00分～17時00分)にご確認ください。</p>
12	<p>OBＤ検査が一般の自動車ユーザーに伝わるよう、マスコミ等を利用して宣伝して頂きたいと思います。</p>	<p>頂いたご意見につきましては、国土交通本省に報告させていただきます。</p>